



# こうさぎ2組 クラスだより 3月



2024年 3月19日  
ひかりの子幼稚園

## クラスで取り組んでいること

- \*生活習慣の見直し
  - \*こぼと組への進級に向けて...
- (身支度・食事・手洗いうがい・鼻をかむ  
靴の左右...等 再確認しあっています)

## 今月の歌

- ♪ はるがきた
- はるがきた はるがきた  
どこにきた  
やまにきた さとにきた のにもきた
  - はながさく はながさく  
どこにさく  
やまにさく さとにさく のにもさく

## 今月の聖句

「わたしはあなたと共にいる」  
(イザヤ 43:5)

## 今月の賛美歌

- ♪ どんな時でも
- どんなときでも どんなときでも  
くるしみにまけず くじけてはならない  
イエスさまの イエスさまの あいをしんじて
  - どんなときでも どんなときでも  
しあわせをのぞみ くじけてはならない  
イエスさまの イエスさまの あいがあるから

## お別れ会

「お兄ちゃんお姉ちゃん、いつもありがとう！だいすきだよ♡」とこひつじ2組さんのお兄ちゃんお姉ちゃんに言葉を送り、お別れ会をしました。言葉は何にしようかと子どもたちと話し合い、大好きだよと言いながらハートポーズをすることに決めました。お別れ会では、チェッチェッコリの音楽に合わせて踊り、笛の合図で玉入れをするチェッチェッコリ玉入れを行いました。こぼと2組さんが考えたゲームで、お別れ会でやりたい！とのことで、お別れ会にみんなで遊びました。夢中になって踊ったり玉入れしたりする姿はとても微笑ましかったです♪ そのほかにもみんな大好き「WAになっておどろう」の体操や集合写真を撮ったり、花道を作ってこひつじ2組さんとお別れしました。また別日には、たくさんお世話になったお兄ちゃんお姉ちゃんへありがとうの気持ちを込めてお手紙♡と折り紙のプレゼント🎁を作り、渡しに行きました。お兄ちゃんお姉ちゃんにとってはとても喜んでくれて、子どもたち自身も嬉しくなった、そんなひと時でした。



## 大掃除

1年間の大掃除を行いました！！子どもたちと一緒に棚や床、ロッカーを拭いたり、おままごのおもちゃを洗ってもらったり、日々少しずつ掃除していきました。「次のこうさぎ2組さんのお友だちのために綺麗にしよう！」と子どもたちに声をかけると、「私もやりたい！僕もやりたい！！」「何すればいい？何処拭けばいいの？」と積極的にお掃除してくれるようになりました。お掃除をしながら、今まで出していたおもちゃと4月入園当初のおもちゃに替えていきました。掃除やおもちゃの取り替えをしていくと、だんだん一つ大きくなって、こぼとさんになる意識が芽生え始めたのか「もうお姉ちゃんだし！」「先生やらなくていいよ、私手伝うから」と頼もしい姿を見せてくれました。使ったものは片付ける、お部屋を綺麗にする。この1年間で身に着けた生活習慣が表れていると感じます👏。



早いもので、入園してから1年が経ちました。入園当初お母さんの陰に隠れて登園してきた子、なかなかお部屋に入るのが難しかった子、「男の人こわい」と言ってなかなか近づけなかった子など、1人ひとり様子は違うけれど、今では子どもたち全員が「おはよう！」と元気な声と笑顔を届けてくれる子どもたちに成長しました。そして、この1年は特に生活習慣と友達とのやり取りが成長したこうさぎ2組さんでした。

リュックの開け閉め、靴の脱ぎ剥ぎ、トイレでの排泄など、どれ一つとっても子どもたちにとっては大きな成長です。最初は手伝ってもらっていたことが、今度は自分で挑戦してできるようになり、友達のお手伝いもできるようになってきました。子どもたち一人ひとりが自分のことだけではなく他への意識を持ったことで、誰かを助けてあげる優しさが生まれたり、トイレのスリッパや椅子を最後まできれいに並べたり、自分の生活する場を整えるそんな素敵な姿も見られました

他への意識を持ち始めたころ、自分の気持ちと友だちの思いが一緒になるとき、とっても楽しくなることに気づき始めました。お友達と一緒に協力してお家を作ったり、砂場でご馳走を作ったり「一緒に作ろう！」「私もやりたい！入れて！」と子どもたち同士のやり取りや遊びには、笑顔が溢れていました。

しかし反対に思いが違うとき、お友達にどう伝えたらいいのかわからなくて、とっても悲しくなったり、言葉で伝えるのではなく体が先に動いてしまうこともありました。お友達が言われたらどう思うのか、自分も同じようにされたらどう感じるのか、保育者と一緒に考えたり、人形劇や絵本など楽しいものを通して学んできました。何度も何度も一緒に考えて、ようやく自分の気持ちが言えるようになってきた子どもたち。その中でも大きな成長がありました。

また、それだけでなく保育者や大人の様子を見ていた子どもも多く、「○○ちゃんはどういう気持ちだったの？」「それは悲しかったね」「じゃんけんしたらいいんじゃない？」とお友だち同士のやり取りの中に入って、仲裁している子どももいました。自分の思いだけではなく相手の思いに気付き、どうすればよいか考えることができる力が育っており、相手の気持ちを受け入れて解決する姿も見られて、とてもその成長を嬉しく思っています。



聖書にはこんな言葉があります。  
【エペソ人への手紙 5章8節】  
あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子どもとして歩みなさい。

幼稚園の名づけであるこの聖書箇所、「光の子ども」には隠された秘密があります。それは、「愛を受け、ほかの人に愛を流していく」という意味です。聖書には、他の人にも愛を持って接してあげられるようになりなさいと教えています。

この1年、子どもたちは沢山の人から愛を受けて育ちました。園長先生や副園長先生、職員室の先生や担任の先生、保護者の方々、たくさんの人に見守られながら成長してきました。そのおかげでたくさん友達ができ、好きなことが増え、幼稚園が大好きになりました。また大好きな幼稚園でお友だちと過ごし、助けてあげたり、おもちゃを貸してあげるなど優しく、愛を持って接することが少しずつ出来るようになってきたのです。

これからはこぼと組さんになり、一つ大きくなります。今よりも多くの友達と関わり、お友だち同士のやりとりも増えていくと思います。こうさぎ2組で過ごした日々、お友だちを助けてあげたり、優しく愛を持って接した日を忘れず、こぼと組さんでも過ごしてほしいなと思います。

保護者の皆様には大変お世話になりました。配慮が足りず、ご迷惑をおかけしたこともありますが、温かく見守って下さりありがとうございました。これからも保護者の皆様とともに手を取り合って、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。1年間こうさぎ2組さんの子どもたちと過ごして幸せでした。ありがとうございました🙏